

## 令和元年度第12回理事会議事概要

日 時 : 令和2年3月6日(金) 16:40～17:15

場 所 : 森林総合研究所特別会議室(つくば市)  
(森林整備センター総括審議役はTV会議で参加)

出席者	理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	柳田真一郎
	理事(研究担当)	坪山 良夫
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	上 練三
	理事(森林業務担当)	猪島 康浩
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	吉野 示右
	総括審議役	高橋 和宏
	総括審議役	石原 聡
	審議役	合田 和弘
	企画部長	河原 孝行
	総務部長	永山 正一

## 1. 開会

(吉野総括審議役)

令和元年度第12回理事会を開催いたします。

本日は議題が1件、報告事項が8件です。順次説明をお願いします。

### I-1 令和2年度計画の届出について（案）

※柳田理事から本件の説明が行われ、審議のうえ理事会で承認された。

### II-1 第5期中長期計画の素案に向けた研究分野の点検のためのワーキンググループの活動状況について

(河原企画部長)

9月2日より次期中長期計画策定に向けた研究分野のワーキンググループ（WG）を立ち上げまして、7回にわたるミーティング行いました。特に最後の12月25日の取りまとめグループワークでは、次の別添のところを見ていただければわかると思いますけれども、これまで挙がってきた大項目ごとにどういうテーマが考えられるのかということ、それぞれグループワークをしまして、その内容について書き込んでもらっております。また、参画できるような研究領域がどういうものがあるかということを検討しております。また、現在の戦略課題との張り付け関係を一覧表として取りまとめています。このようなものを素材として、どのように次期中期計画の中では見せていくのかということ、今後検討していくこととなります。それにあたっては研究ディレクター・コーディネータ、領域長・拠点長、支所長・園長・林木育種センターとも相談しながら、追加・削除の項目を検討していくことになるかと思います。また、林野庁とも次期森林林業基本計画を踏まえつつ内容の協議をしていきます。また、機構内の森林整備センター・保険センターとも関連する分野につきましては、検討を重ねていきたいと思っております。

(鈴木監事)

今までの7回の会議の中で、ディレクターもコーディネータも検討の中に入っていたのでしょうか。

(河原企画部長)

会議には参加してはいるが、第四期中長期の成果の説明等をしていただいています。今回はどちらかというと若手を中心とした研究者から挙がってきている課題を、弾として挙げていただいております。これをもとに今後、ディレクターも含め精査して、足りないものを補ったり、ここは重複しているのではないかとこのところを束ねたり、そういう操作をしていくことになると思います。

### II-2 令和2年4月期新規採用の内定状況について

(永山総務部長)

一般職員（事務系）の募集状況と内定状況ですが、森林総合研究所は採用予定数4名に対して、内定数3名となっています。林木育種センターは採用予定数2名に対して、内定数2名となっています。森林整備センターは採用予定数10名に対して、内定数21名となっています。森林保険センターは採用予定数1名に対して、内定者数1名となっています。

研究職員につきましては、パーマネントについては3名の採用予定としていたところ、2名の内定となっています。任期付研究員につきましては5名採用予定としていたところ、4名の内定となっています。なお、それぞれのカッコ書きにつきましては女性の内数となっています。

(猪島理事)

補足をさせていただきます。森林整備センターの新規採用は、当初10名を予定させていただいたのですが、今年度中途採用予定の10名が確保できなかった分と、また年度途中で退職されていく方が今年度は多く、これらの補充を新規採用で補わなければならない、追加の新規採用試験を行い、合計21名を採用することとしました。

(平川監事)

研究所の職員を採用するよう要望が多いのですが、内定数が少ないということは適任者がおられないということでしょうか。

(永山総務部長)

一般職の方からお答えいたします。4名の採用予定に対して、4名の内定を出させていただこうとしたところですが、内定辞退者が1名発生したことから3名の内定者となっているところです。

(河原企画部長)

パーマネントは3名採用予定だったのですが、うち一人の方は、研究の経歴その他から、とりあえずはテニユアからということで、任期付の方に回しております。任期付職員の方につきましては、一人の応募者につきましては条件が合わないということで、不採用になっております。もう一つは応募自身がなく、採用できなかったということになっています。

(平川監事)

応募がなかったというのはどの分野になりますか。

(河原企画部長)

林業工学研究領域になります。この分野は最初からなかなか大学に人がいないということで、それ以外の工学系の分野にも声掛けを行ってきたところなのですが、このような結果となってしまいました。

(鈴木監事)

森林整備センターはいつも女性が多いのに、今回はかなり少ないと思うのですが、何か理由があるのでしょうか。

(猪島理事)

理由としましては、他の機関に流れしまったことが大きいと思います。地元や転勤のないところを選ぶ傾向があり、特に女性はその傾向が強いのではと思われます。

(柳田理事)

年齢の幅はあるのでしょうか。

(猪島理事)

一番若い人は短大卒なので20歳、年配の人は30歳ぐらいだったと思います。

(柳田理事)

幅はあるのですね。一時期一度に採用した年代が一举に主任に昇任し、ピークは過ぎたようですが、そういう状況があるものですから確認させていただきました。

(猪島理事)

これからは、更に新規採用を確保するような取り組みを強化することと、辞める人がいなくなるようにするための対策を行っていきたいと思っております。

## Ⅱ－3 令和元年度早期退職者の認定状況について

(永山総務部長)

組織の年齢別人員構成を適正化し組織の活性化を図るため、森林総合研究所等及び森林整備センターにおいて早期退職者の募集をさせていただいたところです。結果としまして、森林総合研究所等におきまして3名の募集をさせていただいたところですが、応募者はなしというところでした。森林整備センターにおいては若干名の募集をさせていただいたところですが、2名の応募があり、その2名の方を認定させていただきましたのでご報告させていただきます。

(柳田理事)

整備センターの退職者は若い人ですか。

(猪島理事)

40歳代と50歳代の職員です。家庭の事情と聞いています。

(柳田理事)

やむを得ないですね

## Ⅱ－４ 令和元年度に開発した優良品種について

(上理事)

林木育種センターで今年度開発しました優良品種、全部で３７品種となります。今後原種苗木を育成し、都道府県等の採種園、採穂園等を通じて普及を図っていきます。内訳は表のとおりでございます。今回初めて、表の５段目ですけれども、無花粉遺伝子を有するスギ品種というものを開発しまして、これを使って、無花粉の品種開発に役立ってもらおうという趣旨で開発しております。

(吉野総括審議役)

無花粉遺伝子を有するという表現はなんかこういう表現をしなければならないのでしょうか。

(上理事)

ラージAとスモールaで、無花粉の遺伝子の中に有するもので、品種としては無花粉ではないのですけれども、例えば、無花粉のスギとこの無花粉遺伝子を有するスギ品種と掛け合わせをすると、出来てきた物の半分の割合で無花粉スギが得られることになります。これまで無花粉遺伝子を持っているものを探してこなければならなかったわけですが、この品種は最初から無花粉の遺伝子を持っているので、これを使ってもらえれば交配が効率的にできることになります。

## Ⅱ－５ 林木遺伝子銀行１１０番の実施状況について

(上理事)

林木遺伝子銀行１１０番の里帰りの関係ですけれども、今年度も３番の写真にあるとおり、平成１５年からスタートして、今年度末で数字が確定されていませんが、２２０件程度、最終的には２２３件か４件くらいの里帰りの実績が上がってきております。もう一つはオガサワラグワの里親計画ということで、今年度、育種センターの遺伝資源部で理事長賞も頂いたところですが、その中の取り組みの一つで、オガサワラグワの里親計画を日本植物園協会の方から各会員の方に募集を回していただき、手上げ方式でオガサワラグワの苗をそれぞれ受け取っていただき、分散保存をしておくという趣旨のもので、今年度７か所で受け渡しを終了しております。その後も、公園協会の会員から希望が来ているようですので、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

(柳田理事)

オガサワラグワの関係はできるだけ多くということで上限はあるのでしょうか。

(上理事)

上限は考えておりません。

(柳田理事)

要望があればということでしょうか。

(上理事)

そういうことになります。

## Ⅱ－６ 令和２年度における水源林造成事業の取組について

※猪島理事から本件の説明が行われた。

## Ⅱ－７ 森林気象害リスク評価シンポジウム開催概要（一部非公表）

(石原森林保険センター所長)

２月１２日に上記シンポジウムを開催させていただきました。イベント自体は予定通り開催しまして、おかげさまで参加者も結果的に当初の見込みの参加者、スタッフを除いて１５０名の出席ということで、盛況裡に終わりました。開催にあたりまして、大変ご協力いただきましてありがとうございます。また当日も、ご参加いただいた方たくさんいらっしゃいまして、本当にありがとうございました。次のページからは当日会場で配った発表の概要を付けてありますのでご参考にしていただければと思います。

(鈴木監事)

今後気象庁との連携はあるのでしょうか。

(石原森林保険センター所長)

そこまでは今考えていませんが、こういう機会が出来ましたので、情報交換などが出来ればしていきたいと思います。

## Ⅱ－８ 令和元年度第２回森林保険センター統合リスク管理委員会審議概要

※石原森林保険センター所長から本件の説明が行われた。

(吉野総括審議役)

今年度最後の理事会ですので、沢田理事長から一言お願い致します。

(沢田理事長)

一年間ありがとうございました。無事に第４期中長期４年目が順調に終わると思って

おります。実際には新型コロナウイルスが最後にどの程度影響するかわからない状態ですけれども、最後まで気を引き締めてお願いしたいと思っております。

（吉野総括審議役）

これで令和元年度第12回理事会を終了いたします。次回は令和2年度第1回理事会になります。令和2年4月10日（金）開催です。

### 3. 閉会